

県境を超えたソフトな連携事例

～新たな概念の広域化事例～ （北奥羽地区水道事業協議会）

《設立年度》：平成19年度（設立総会は構成22団体中12名の首長が参加）

《加盟団体》：22市町村（青森県13事業体、岩手県9事業体）

《活動方針》

- ・ 支援体制の構築
- ・ 地域水道ビジョンの策定支援
- ・ タイムリーな研修会の開催

《活動内容》

総会：年1回（課長、所長級）、役員会：年1回程度（課長、所長級）、研修会：年3回程度

《今までの研修会》

- ・ 「減圧弁講習会」構造から維持管理まで実践的に研修。
- ・ 「中小規模水道の現状と第三者への委託について」発注者側と受注者側からの視点で研修会を実施予定
- ・ 「施設見学会及び報告会」構成事業体の施設を見学し、概要、抱える課題等職員の交流を目的とした意見交換会を実施。（21～25年度）
- ・ 「危機管理について」の研修会実施。 ・ 「配管講習会（配水管～メータまで）」企業団研修センターで実施。

《これまでの成果》

- ・ 23.3.11、構成事業体の久慈市へ災害支援（応急給水）を実施。
- ・ 漏水事故時の緊急材料の調達等。